



グッドドライバー・レッスン in 利府

開催日：2023年7月21日
 開催地：利府町文化交流センター リフノス(宮城県利府町)
 主催：NPO法人グッドドライバー・レッスン
 共催：宮城県利府町

地域とともに創る

モータースポーツも“安全”が大原則 地域と一緒に考える“運転の楽しさ”の伝道

ラリー競技を続けるには開催地域の理解が不可欠なもの。代わりに地元の皆様に貢献できることが何かあるのでは？こんな視点で始まった体験型イベントが注目されている。ここでは「ラリー開催の恩返し」に取り組む試みをご紹介します。

PHOTO / JAF スポーツ編集部 [JAFSPORTS] REPORT / JAF スポーツ編集部 [JAFSPORTS]



全

日本ラリー選手権を戦うラリードライバー・奴田原文雄選手が監修する運転レッスンを全国各地で開催されている。「グッドドライバー・レッスン」と題したこのイベントは、「安全・楽しく・快適」に愛車との素直なカーライフのお手伝い」の実現を目的に、高齢ドライバーを始め、若者やファミリーまで、幅広い層にカーライフを楽しむためのコツや、運転に役立つポイントを提供する試みとして、2021年から行われている。

このイベントは、全日本ラリー選手権の主催でもおなじみTEAM ARKの竹道雄康氏が理事長を務める、NPO法人グッドドライバー・レッスンが運営しており、2019年に実行委員会が発足して以来、北海道を

拠点にイベントが全国展開されている。

近年ではTOYOTA GAZOO Racingラリーチャレンジに併せて、そのラリー開催地域で行われることが多く、今回取材した「グッドドライバー・レッスン in 利府」では、翌日から開催されるラリーチャレンジの競技役員が運営協力に携わっていた。

このレッスンの成り立ちについて、団体

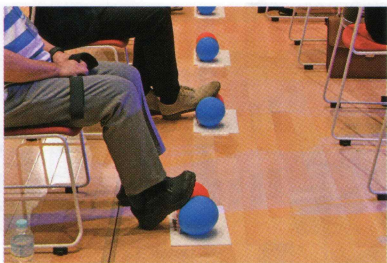
の副理事長も務める奴田原選手は、「ラリーという競技は、地域の皆さんが使う道路をお借りして競技会を行うので、何かこちらから地域に対して恩返しができないか、と考えていました。私達は運転を専門として、クルマが大好きなので、交通事故が少しでも減ることを望んでいます。そのため、地域の皆さんの交通安全に貢献するよ



グッドドライバー・レッスンの監修を務めるのは全日本ラリー選手権を戦うプロリストの奴田原文雄選手。今回はラリードライバーの石田雅之選手や全日本ジムカーナ選手権を戦う西野洋平選手がインストラクターとして来場し、参加者との交流や運転にまつわるアドバイスを行っていた。



会場は宮城県の利府町文化交流センター「リフノス」。まずは参加者全員で開会式とストレッチ講習を受ける。



風船をアクセルとブレーキに見立て、スクリーンの指示に従って走行を疑似体験して、足首等の動きをほぐす。



ハンドルを回す準備として、ゴム紐を使って上腕部のストレッチ。利府町の熊谷大(ゆたか)町長も体験。



屋外にはプリウスを使ったアクセルとブレーキの踏み間違え時に働くサポートブレーキ体験コーナーが設置。



踏み間違えの原因の一つとされる、運転中の足の開きを補正するサポートクッションの体験コーナーも。



身体機能と認知機能をゲーム形式で数値化するコーナーや、町内の事故多発地帯の対応の解説も行われた。



路面に接するのは4つのタイヤだけ、ということで、タイヤの構造や重要性を学べるコーナーも用意された。



ドライブレッスの最初に運転姿勢の基本を学ぶ。今回は宮城県警の協力で警察車両を例に講義が行われた。



市街地走行のあらゆる状況を施設の駐車場に再現した教習コースを走行する、この企画のメインコンテンツ。

うな講習会ができないかなと考えて、このレッスンを立ち上げました」と語っている。

イベントのメニューは実に多彩で、大きく分けて4種類のコンテンツを持つ。まずは参加者全員で開会式に参加し、運転時に有効なストレッチを学ぶ。その後はグループ分けされて各レッスンを巡る流れだ。

三井住友海上の協力を得たシミュレーター体験では、身体機能と認知機能を数値化するゲームや、地元利府町の事故多発地帯を解説するレクチャーも行われた。トヨタ自動車の協力による屋外でのサポートカー体験では、最新機能を備えたいわゆるサポカーの乗車体験に加え、運転姿勢を補正するクッションの装着体験も用意された。また、ブリヂストンの協力によりタイヤの重要性を学べる講義も行われ、講義と実体験の両面で、運転にまつわるあらゆる知見を得られるプログラムとなっていた。

そして、今回のメインとも言えるのがドライビングレッスンだ。これは仮設された教習コースを参加者が自家用車で走行する体験プログラムで、奴田原選手による、安

全運転に繋がる運転時の基本姿勢の講義を受けた後に、各自がコースを走行する。

流れに乗る速度調整や一時停止、見通しの悪い交差点の通過、路上の段差超え、動物の飛び出し、歩行者の横断、路肩への停車といった、市街地走行で出会いがちな状況が再現されており、各セッションにはインストラクターが常駐して、参加者にアドバイスするという構成となっていた。

イベントの最後には、奴田原選手から修了証が手渡される。午前10時から始まったレッスンは、13時には終了していた。

このレッスンでは、クルマは単なる移動の道具ではなく、クルマを運転すること自体が楽しい行為であることの伝道も目的としているという。運転の極限を知り尽くしたモータースポーツ関係者たちの地域へのメッセージは全国で浸透しつつあるのだ。



レッスンの最後にはすべてのプログラムを体験し終わった参加者は、奴田原選手から参加者の名前入り修了証が授与される。そして今回は、交通安全祈願で知られる長野県の蓼科山・聖光寺(しょうこうじ)の護符「交通安全 鍵守り」を参加者全員にプレゼントしていた。

